



広報

# みささ

町の規模		前月比
世帯数	1,894戸	(+1)
人口	5,520人	(±0)
男	2,571人	(-3)
女	2,949人	(+3)
(昭和62年12月31日現在)		

昭和63年 1月10日 No.128  
 発行 愛媛県西宇和郡三崎町  
 三崎町役場 54-1111 印刷  
 編集 総務課 佐川印刷 KK



お祈りします

ありますよう

良い年で

今年も

ございます

おめでとう

あけまして



## 躍動

### 躍動の年

悲願の頂上線(国道一九七号線)開通...  
 工期十六年、総事業費四百十億円をつぎ込んだ、三崎―八幡浜間の新国道は、観光・物流面からいってもメリットは大きい。  
 〈行くな酷道〉と呼ばれた道路も完成後は〈行こな好道〉に変身している。

町の活性化には、これ以上ない、好条件の交通体系整備である。  
 三崎高校の新築、三崎港湾の整備、南予用水事業の完成等々、前途は、明るく生き生きとした昭和六十三年度である事は、誰もが周知の事実であります。が、反面安閑としてられない状況面も数多い。  
 町内のアクセス道(県道・町道)の整備、観光施設の整備等早急に対応して、観光客・市民のニーズにこたえるべき施策を講じなければならぬ。  
 昭和六十三年度は色々な意味に於いて重大な年であります。躍動は三崎町の使命として、いま、ときめきます。



三崎町長 菊池 功

# 活力ある町づくり ふるさとづくりを

力をいただき、南予用水、港湾整備、教育文化振興、福祉・医療整備、生活環境整備、財政再建、行政改革など本町の懸案事項の改善に努め、活力ある町づくりのために全力をあげる覚悟であります。

新年あけまして、おめでとございます。

輝かしい昭和六十三年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、統一地方選挙をはじめ急激な円高など、内外ともに変動があり地方自治体にとりましても、極めてきびしい一年となりました。

昨年四月から町民各位の暖かいご理解とご支援により町政を

担当させていただいておりますが、この間皆様方からは、格別のご指導とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

本町も、きびしい状況下ではありますが、活力ある町づくりをめざして、産業基盤の整備をはじめ、教育・生活環境整備などに取り組んでいるところであります。

このたびの国道一九七号頂上線メロデラインの開通は、永年に

わたる私たちの悲願でありましただけに、感慨もひとしおのものがあり、観光と併せた町産業活性化への取り組みとして、さらに九四連絡の玄関口、又将来の山陽道バイパスの四国拠点として、大いに期待できる明るい展望の一つであります。

このような状況のなかで、各産業団体、民間などの活性化をめざしての関係者の非常に熱意ある取り組みには、心から敬意

と感謝を表する次第であります。

今年度は、より高級化・国際化・文化化がすすむと予測されており、円高定着や内需拡大型予算など、期待・不安とも大きいものがあります。

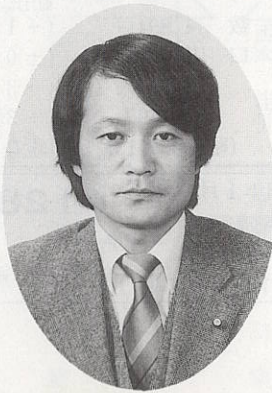
本町にとりまして今年度は、三崎高校全日制移行三十年、三崎町農協合併三十年、佐田岬灯台初点七十年、国道九四フェリー基地化二十年など記念すべきことも多く、私

たちは関係機関のご指導とご協

本町は今、明るい将来展望と、きびしい現状のなかで、重要な転換期に直面しており、今こそ官民一体となり、町民の総力をあげてわが町、わがふるさとづくりに取り組む必要を痛感する次第であります。

どうか皆様方には、今後一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の一層のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新春のごあいさついたします。

昭和六十三年元旦



三崎町議会議長 松下 均

## 住民参加の町づくり

輝かしい一九八八年の年頭に当たり、

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年はまさに昇天の龍の年であり、本町にとりましても衆知を集め、議を尽くし、

決断をもって活性化の施策を推進しな

ければならない年でもあります。

ご承知のように昨年の十二月四日に待望久しかった国道一九七号線の頂上バイパスが、全線にわたって開通し、今後の地域の振興発展の大きな節目の年を迎え、各種施策の見直しをすべ

きときと思えます。

町の振興発展の基礎は、住民の定住条件の整備と、生活の安

定を確保することにあります。

私共は、今こそ皆様方の代表として選ばれた誇りと、議会人として与えられた職責を十分に果たすべきであるという、自覚と認識とを新たにしているところで

ございます。

本町の当面する課題はまず、堅実な行財政の運営と、社会基盤の基礎となります。

あります。そのためには、教育施設の整備が急務であり、更に

産業振興の活性化の大きな要因であります。

南予農業用水を導入することによって新しい農業の振興等々、二十一世紀に向かって山積する課題に対しまして広く皆様方の

英知を集め、知識を集約して、住民参加の町づくりに尽くして

まいりたいと思っております。

このため、議会の場はもとより、日常の議会活動の中においても積極的に展開して行きたいと思っておりますので、今後とも格別のご声援をお願い申し上げます。

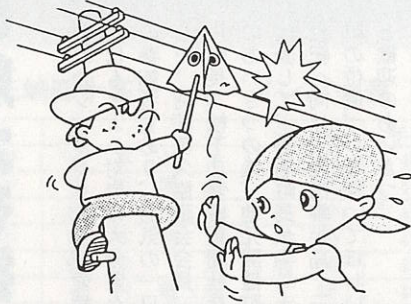
最後になりましたが、皆様方の今後益々のご健勝とご多幸とを心からお祈り申し上げます。

昭和六十三年 元旦

# 電線に注意しようヨ

子供は風の子、冷たい風の中でも元気に外で遊び廻っています。でも電線の近くでタコあげは危険ですから注意したいものです。

もし、タコが電線にかかった時は、自分たちでとろうとしないで、すぐにお近くの四国電力へご連絡ください。



「竜の翼を得たることし」は強いものがさらに強くなることで、翼の代わりに水、雲などということもあります。  
 蛭「竜の脰の玉を取る」は、難しいこと、危険なことのため。  
 また、「竜の鬚を蟻がねらう」は身のほど知らずのたとえです。  
 このように竜は強いものとされていますが、「竜虎あい撃つ」ともいわれますから、竜は虎とは互角のようです。

さて、みなさんはこの新年をどんな決意でお迎えになりましたか。いずれにしても「竜頭蛇尾」に終わらないようにしたいものです。  
 ※脰(あぎこ)とは、あごのこと。



## 愛大医学部より 山本先生着任

昭和六十二年十二月三十一日付けをもって退職された申診療所の山本昌也先生に変わって、愛媛大学医学部から山本浩司先生が新しい年を迎えて着任されました。  
 先生は昭和三十七年十一月二日生まれの二十五歳で三崎町が大好きとか。  
 奥さんと二人連れの着任で、やさしい先生です。  
 趣味はレコード鑑賞と磯釣りで三崎のきれいな海で磯釣りをするのが楽しみとか。  
 三崎町の皆さんよろしくお願いたします。

# 今年辰年



辰は十二支の中で唯一の空の動物です。でも、念のため、ある動物図鑑を見たら、辰は竜として載っていました。  
 「大蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた伝説の動物」とあります。  
 辰は十二支の仲間として広く知られた存在なので、架空の動物の中でも別格なのでしょう。  
 もちろん、最近登場した怪獣の類は図鑑に載っていませんでした。

## 伝説

の竜は中国や日本だけでなく、同じようなものが見られます。どれも実在の動物を組み合わせたようなものですが、中国や日本の竜は蛇の胴に足をはやし、鬼の顔に鹿の角をつけたような動物です。  
 竜は日本では、水をつかさどる力を持っているとされ、竜神や竜王に雨ごいをする風習が各地にあります。「竜住む池は水枯れず」とか「竜の子は小さくといえども、よく雨を降らす」などといわれるのはこのためです。  
 また 竜は諺にもしばしば登場します。「竜吟ずれば雲起る」とは、英雄の決起に多くの同志がこれに従うことの意味で、英雄を竜にたとえているのです。

## 自衛官 募集中

自衛隊では、若人が入隊活躍されることを期待しております。  
 一、応募資格  
 一八歳以上〜二五歳未満  
 二、身分  
 特別職国家公務員  
 三、給与  
 初任給(月額)二〇、二〇〇円  
 期末、勤勉手当(年三回)合計四・九ヵ月分)の他、各種手当が職務や勤務条件等によって支給されます。  
 四、衣食住 食事、宿舍費が無料の他、被服等もすべて無料支給または貸与されます。  
 五、任期制隊員については、特別退職手当が支給されます。  
 一任期(二年・陸上)満了時 一〇〇日分(四一六、〇〇〇円)  
 一任期(三年 海上・航空)満了時 一五〇日分(六四九、〇〇〇円)  
 その後の任期(二年)毎に、二〇〇日分―七五日分  
 詳しいことは、自衛隊愛媛地方連絡部大洲募集事務所(T E L〇八九三(二四) 四一二三)へお問い合わせ下さい。

# 開通記念行事続々と!!

## 半島の魅力を探る(シンポジウム)

半島道路全線開通を記念して十一月二十六日三崎高校講堂に於いて、「半島の魅力を探る」をテーマとしてシンポジウムが(佐田岬広域観光推進協議会など主催)が開催された。当初は五百人の参加予定者を見込んでいたが、開催当日は七百人(三崎町二百人)余りの参加者となり、佐田岬半島の期待の大きさがうかがえる。



被表彰者を代表してあべちから君

わたしたちシンポジウムで、愛媛県内はもとより対岸の大分県から参加者もあり、活気の一日で阿部茂久協議会会長(瀬戸町長)、松下功愛媛新聞社社長「のあいさつ」の後、地元開催町を代表して、菊池町長が「二十一世紀へ向け、佐田岬半島、三崎町の位置づけを探ってほしい」と歓迎のあいさつ。申小学校一年あべちから君、保内中学校三年二宮恵理さんが「明日の佐田岬半島」の入賞作文を朗読した。



熱弁の羽仁監督

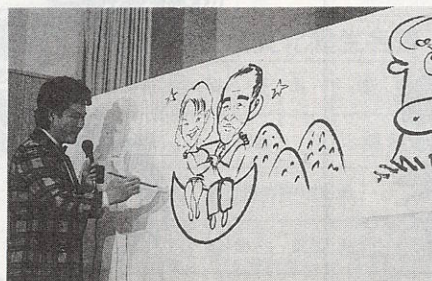
パネルディスカッションでは、八幡浜市在住の写真家新田好先生が「串の民家・石垣、瀬戸の大久海岸の美しさを次の世代に伝えるとともに、人情や底ぬけの明るさを心の文化として守っていききたい」と述べた。

### 三崎町チーム氏名

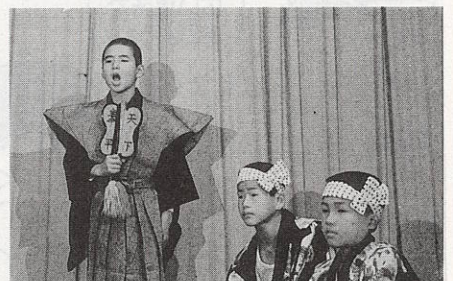
- 三崎高校Aチーム(2°25'31")  
 源 孝士・浅野 洋海・浅野 正吾  
 大石 伸泰・加藤 保・岡上 幸吉  
 三崎高校Bチーム(2°35'39")  
 清水 和彦・清川 忠利・井上 海  
 平安山義晃・山下 貞男・石田 耕三  
 三崎高校野球部(2°42'20")  
 中江 勝幸・小西 直人・小松 隆之  
 上本 久・山本 悟・佐々木 彰

### (クラブチーム)

第一区(6.5km)	塩崎 尊 俊	26
第二区(10.7km)	藤原 秋 夫	32
第三区(7.6km)	三根生 和 也	24
第四区(5.597km)	梶原 文 幸	29
第五区(5.2km)	平家 良 則	22
第六区(4.6km)	橋本 達 哉	25
補 欠	宇藤 司 幸	30
補 欠	平藤 善 幸	39



熱筆のまんが太郎先生



熱唱の角士甚句

昭和六十二年十一月二十九日国道一九七号線の開通を記念して「三崎―八幡浜間駅伝競走大会」(愛媛大分連絡国道期成同盟会など主催、県体協・愛媛新聞社など後援)が本町商工会前を菊池町長の号砲合図でスタート、八幡浜市役所前ゴールの片道コース四〇・一九七キロ(六区間)で行われた。

## 三崎―八幡浜間駅伝競走大会

開会式は本町町民会館四階で行われ、塩崎尊俊(三崎町チーム)君が「佐田岬メロディアライムのイメージを壊さぬよう完走します」と選手宣誓。一般、クラブ、団体、高校の計五十八チームの選手たちは午前十時半、一斉にスタート。開通式を控えてきれいに整備された国道をひた走り、健脚とチームワークを競った。

左に瀬戸内海、右に宇和海が広がる景観は選手たちの目を魅めアップダウンの激しいコースであるにもかかわらず好記録であった。沿道、中継地点には地元の人や応援団が並び声援を送り人情の佐田岬を印象づける場面も。又大分県臼杵市の参加には敬意を表します。

本町も三崎高校三チーム・クラブチームが参加し、短期間の練習量からすると大健闘でした。記念行事の駅伝大会で終わることなく来年も再来年も開催できるように官民一体となって推進するよう祈ります。

入賞チーム次の通り。【一般の部】①NTT2時間12分44秒②松山商大B③県立農大クラブ【クラブの部】①臼杵市陸上競技協会A2時間11分39秒②八幡浜体協A③松山陸協④伊予市体協⑤大洲体協⑥川之江陸上競技協会【高校の部】①吉田高校A2時間7分57秒②八幡浜高校A③吉田高校B



商工会前をスタートする58選手

# 国道197号頂上線

## 開通に沸き沿道千人を超す

八幡浜市矢野町から本町に至る全長三十八・九キロの国道一九七号（頂上）線の全線開通式が十二月四日午前、瀬戸町塩成の堀切大橋詰めで行われた。

本町でもパレード出発地として沿道行事を実施。煙火の打上げ、鼓笛隊の演奏、くす玉割り、風船揚げ、唐獅子の参加、銀輪パレードと多数の行事が盛大に催された。

沿道に参集した人の数は千五百人にも達し、開通に対する関心の高さがはかられる一場面だった。その雰囲気がつたわったのか、日程には無かった知事さんの車中見学予定が急ぎよ車から降りられ関係者を慌てさせる一幕も。

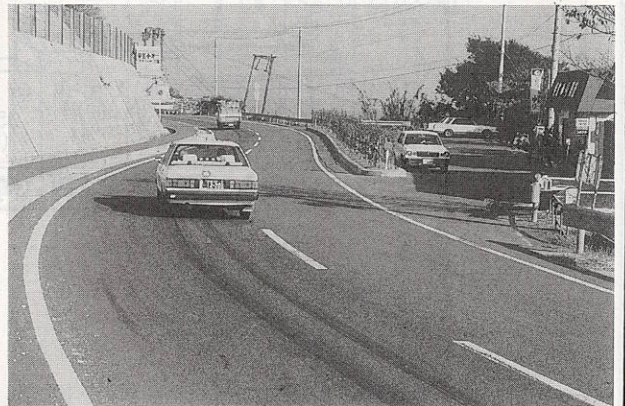
パレード通過後は、観光協会が主体となってモチまきを実施、会場が一層賑わった。



うまくいったぞ くす玉割り・風船揚げ



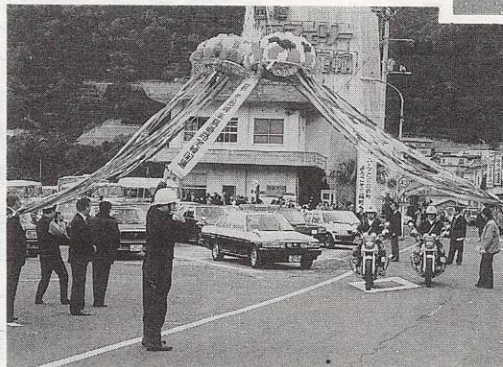
勢揃いの関係者（サミットを思わす）



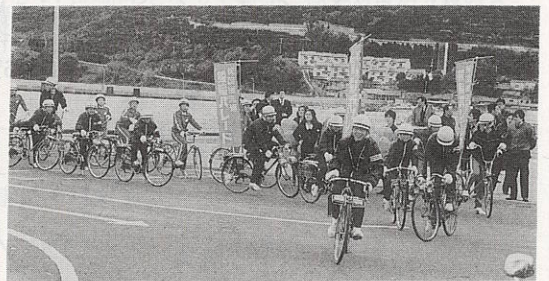
これがあの国道197号です



モチつきにも力がはまる



パレード出発



夢を運ぶ銀輪パレード（串・三崎・二名津中）



唐獅子も参加（二名津・三崎・南部）



おみこしワッショイ 園児もハッスル

# 簿 総 決 算

## 特別会計 19億3千47万2千円

昭和61年度の本町における  
財政状況を公表します。

昭和62年10月1日  
三崎町長 菊池 功

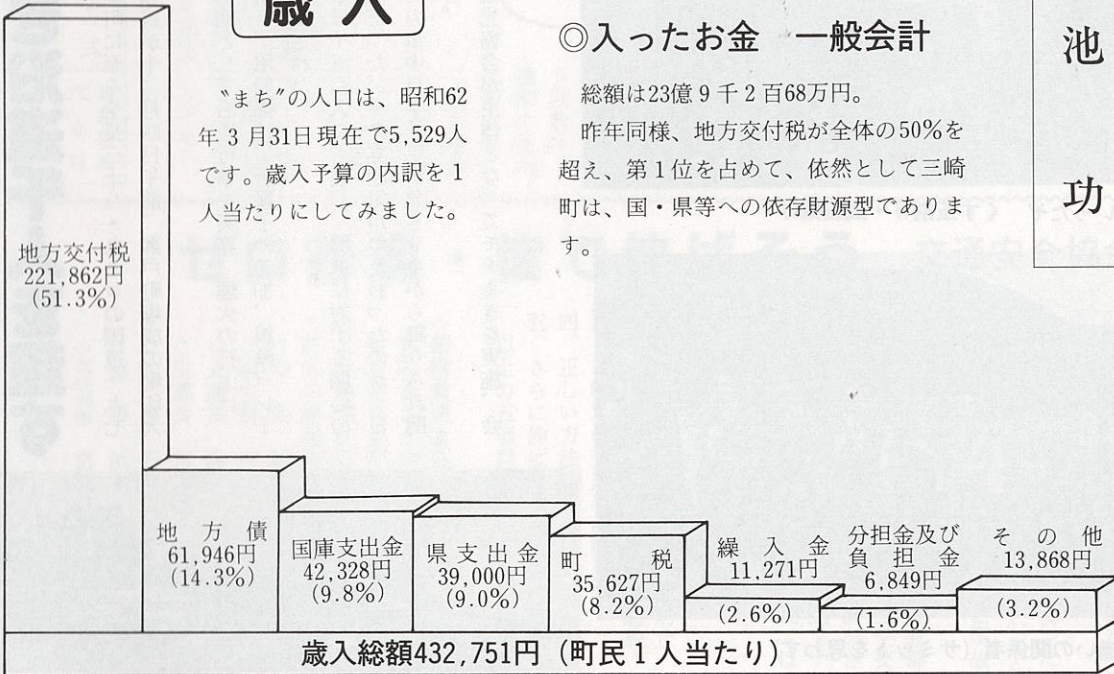
1人当たり

### 歳入

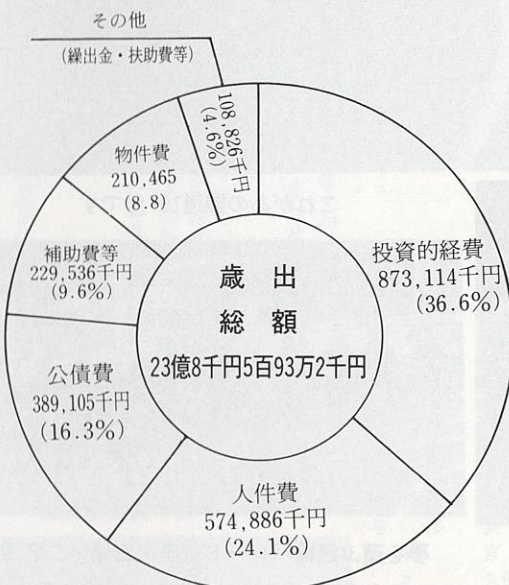
“まち”の人口は、昭和62年3月31日現在で5,529人です。歳入予算の内訳を1人当たりしてみました。

### ◎入ったお金 一般会計

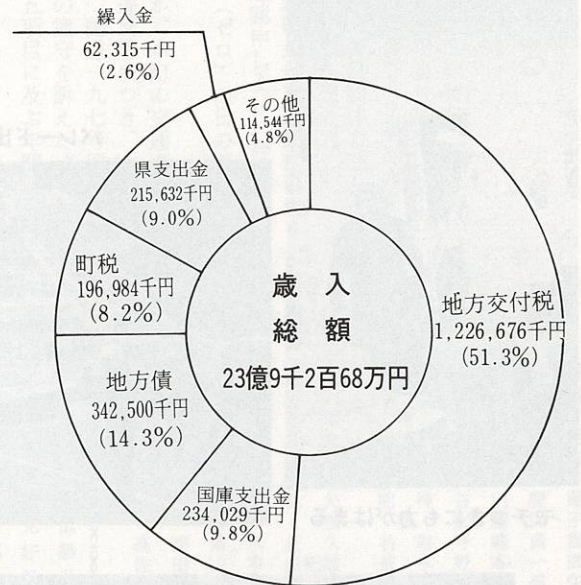
総額は23億9千2百68万円。  
昨年同様、地方交付税が全体の50%を超え、第1位を占めて、依然として三崎町は、国・県等への依存財源型であります。



地方譲与税  
自動車取得税交付金  
使用料及び手数料  
寄附金  
諸収入  
財産収入  
繰越金



【性質別歳出の内訳です】



「住みよい三崎の“まち”づくりのため努力しています。みなさんのご理解ご協力をお願いいたします」

離婚 一組



結婚 十六組

死亡 五三人



出生 二八人

転出 二四七人



転入 一九七人

(昭和61年度に役場窓口で受け付けたもの)

町民のみなさんへ

# 61年度

# 町の家計

## 一般会計 23億8千5百93万2千円

### ◎使ったお金 一般会計

総額23億8千5百93万2千円で、昨年度に比べると2億3千1百73万3千円の増額となっています。

内訳は農林水産業費が部門別には1位を占めているが、性質別では義務的経費(人件費・公債費等)が5割近くになっている。

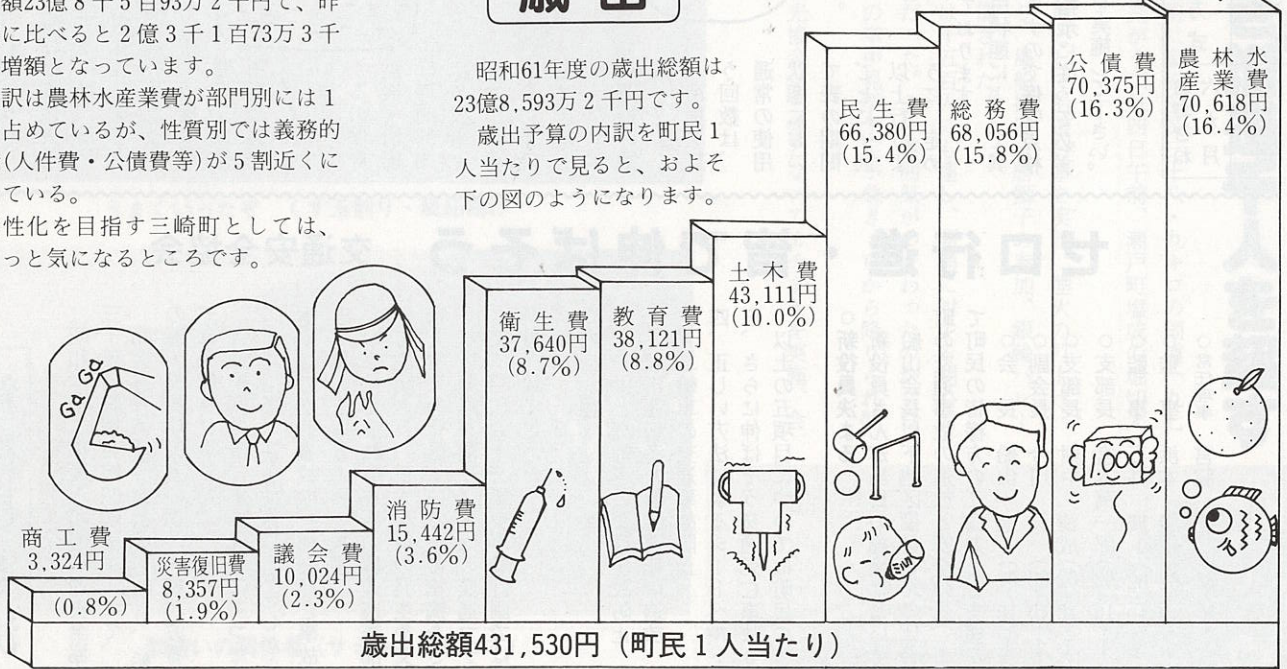
活性化を目指す三崎町としては、ちょっと気になるところです。

### 歳出

昭和61年度の歳出総額は23億8,593万2千円です。

歳出予算の内訳を町民1人当たりで見ると、およそ下の図のようになります。

1人当たり



## 1月26日は文化財防火デーです。

1月26日は、法隆寺金堂壁画が焼損した日(昭和24年)に当たるのでこの日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災、震災その他の災害から守るため全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護思想の高揚を図る日です。

「文化財は、貴重な私たち国民の財産です!!」

「文化財防火デー」を契機として広域的に地域ぐるみ、住民ぐるみの文化財愛護思想と防災意識の高揚に努めましょう。

### (行事予定)

場所 八幡神社模擬火災訓練・とき 1月26日午前10:00

三崎町教育委員会

三崎町・三崎町消防団

八幡浜地区消防署第一分署

### (三崎町の指定文化財)

あこう樹

庄屋の門

伝宗寺の本堂

伝宗寺の大楠

三崎八幡神社



### 特別会計

昭和61年度特別会計の決算状況は下表のとおりです。

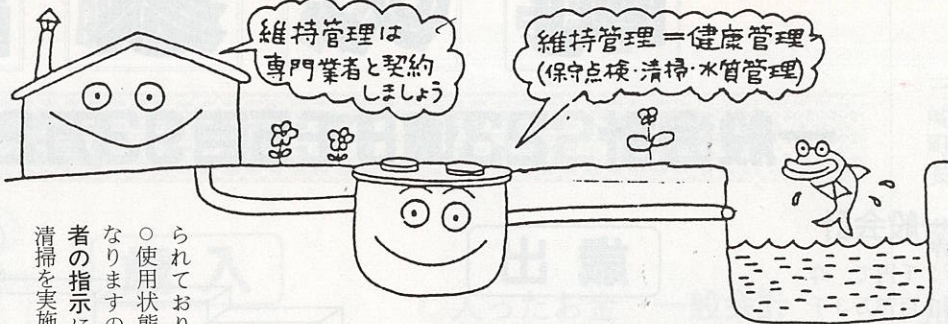
内容は国民健康保険特別会計の施設勘定部門が1億7千6百7万2千円の赤字となっており、赤字対策が今後の大きな課題となっています。

### 決算状況

会計名	歳入額	歳出額	差引残額
国民健康保険特別会計	千円	千円	千円
(事業勘定)	585,361	534,255	51,106
(施設勘定)	376,685	552,757	△176,072
港湾整備特別会計	2,482	2,416	66
土地取得特別会計	12,205	12,202	3
住宅新築資金等貸付事業特別会計	91	90	1
老人保健特別会計	433,059	431,747	1,312
水道事業会計			
(収益的収支)	60,906	70,953	△10,047
(資本的収支)	326,052	326,052	0
合計	1,796,841	1,930,472	△133,631

# 浄化槽の正しい維持管理を!

生活環境課より



浄化槽が正常な機能を発揮するには、浄化槽の健康管理(保守点検・清掃)が必要です。保守点検・清掃は設置者又は使用者に義務づけられています。

この保守点検・清掃は専門的知識・技術を持った許可業者に委託して実施してください。

○清掃の回数  
清掃を行う回数は、通常の使用状態において表の期間ごとに一回以上行うように、定められております。

○使用状態によって異なりますので保守点検者の指示に従って必ず清掃を実施して下さい。

分離(接触)ばつき方式その他	全ばつき方式
一年	おおむね六カ月

## ゼロ行進・皆で伸ばそう 交通安全協会

### 新役員も決まる

昭和六十二年三崎町交通安全協会の定期総会が、去る九月三十日、町民会館四階ホールにて、盛大に開催されました。開会宣言の後、表彰式に移り、船山協会長より優良運転者の部・役員功労者の部・一般功労者の部・優良団体の部とそれぞれ表彰されました。

会長挨拶の後、来賓祝辞に立った菊池町長は交通死亡事故0(ゼロ)の日二千五百日達成を心から感謝申し上げ、今後とも、本町での交通事故の一掃と死亡事故0(ゼロ)の日の更新につき、協力を賜りたいと挨拶。

つづいて三崎駐在所の渡辺巡査部長が、本町の交通事情について説明され、重大事故の発生や交通違反等につき、水面下では非常に悪化しているとの指摘をされ、国道一九七号頂上線バイパス開通を前に、各人の交通マナーの遵守を訴えた。

又、昭和六十三年度事業計画では、五項目に及ぶ年間目標を全員一致で定めた。

#### ○内容

- 一、子供と高齢者の交通事故防止
  - 二、若年運転者の無謀運転の追放
  - 三、二輪車の交通事故防止
  - 四、正しい方法によるシートベルト・ヘルメットの着用の徹底
  - 五、さらに伸ばそう交通死亡事故0(ゼロ)日数
- 以上の五項目については町民の皆様方も是非ご協力を。

#### ○新役員決まる

新役員さんが当日の総会において決まりました。船山会長以下地区役員さんの任務は大変なことと思いますが、町の交通事故の追放と安全の為、より一層のご尽力を、あわせて町民の皆様方のご協力とご支援が必要です。

- 会長 船山 進 (62・10・11 66・9・30)
- 副会長 今川 又一 (62・10・11 64・9・30) 二名津地区支部長
- 支部長 堀中 清成 (62・10・11 64・9・30) 三崎地区支部長
- 支部長 宮本萬一郎 (62・10・11 64・9・30) 串地区支部長
- 監事 石井 巽 (62・10・11 64・9・30)
- 監事 浜本 勝重 (62・10・11 64・9・30)
- 常任理事 宮脇 建二 (62・10・11 64・9・30) 生活環境課長

### 昭和62年度

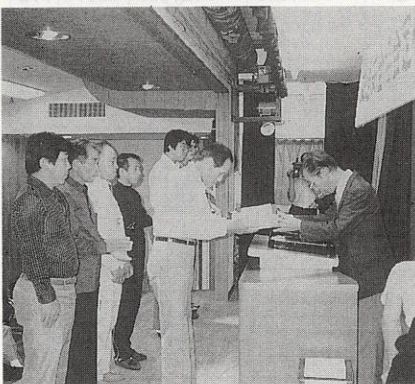
### 三崎町交通安全協会被表彰者

- ◎優良運転者の部  
蔵明行昭吉ヨ蔵子重郎栄 洋勉郎松康由久郎 明雄  
勝博弘一秀モ鹿尚貞一美 吉 音為利松綱吉 福  
下田部戸本村川藤崎本野 川宮下本越上林野 本根  
山池阿木堀西谷加寺野浅 江宇山川川岡小浅 山水  
浦修 野津 神 取木磯 修 申 神 取 磯 田 取  
井与 正二 明 名金平 与 明 名 平 佐 名 佐 名
- ◎優良功労者の部  
大夫妻貞茂夫強久雄郎 孝洋肇蔵光郎平孝 和弘範  
正道 良博 久 正由八 富一 幸久真梗清 道満充
- ◎優良団体の部  
申中学校PTA  
正野小学校児童会

(任期62.10.1~64.9.30)

地区名	理事	代議員
須賀村	都築邦雄	井上清久
中上	松沼昭清	梶谷原口
札揚	堀中本	梶谷原口

#### 役員功労賞の授与



- 彦郎広和 馬正一実広勝弘 芳雄忠泰作文由重一
- 敏長輝明 克光栄豊克好保 三義良長治正松三尊
- 村池下村 藤田谷田田部本 崎本西井平宮上下井
- 中菊山中 加門梶池中阿岡 宮水小平中宇岡山鶴
- 陽三郎 光愛直強正次夫明宏一郎和由義彦春 道郎
- 陽久公萬 精哲正昌萬庄泰又信民安久幸年 博一
- 山本宮本本田村本下田本田部川村幡本越下谷 部野
- 杉山若宮岩高中木山浜宮久保田今田八松川木西 阿河
- 山西西坂 浦田田浦修 野津 神 取 木磯
- 杉中大赤 佐野 申 正二 明 名 釜平

# 雨中の熱戦

## チャリティソフトボール大会

菊香る文化の日、昨年につづいてチャリティソフトボール大会が三崎中高グラウンドで壮年チーム(三崎四十雀)を主体として、菊池町長の始球式によって、熱戦の火ぶたがきつて落とされました。

第一戦はリーグ戦優勝の商工会チームで、一新された壮年チームも一層の闘志で望んでいたが結果は、商工会チームが大会の主旨を理解していただいた内容でした。

今年も昨年よりも二チーム多い十二チームの参加申し込みで

したが、二年連続の雨中の戦いとなり、五試合目途中で中止。二年連続して申し込みだけに終わったチームが残念がついてい。それでも寄附金は昨年より四千円増となり、関係者一同大会の大切さを痛感していた。

特に戦わずしてチャリティに参加された町議会チーム、メディックチーム、ごんべえチーム、堀田チームの皆さんには心よりお礼申し上げる」と担当者

の声、来年こそは全試合が実施されるよう祈る。



三崎四十雀チーム・メンバー表

	選手名	住所	年齢
監督	山本久光	三崎	46
外野手	中村博道	三崎	47
投手	松田秀夫	三崎	48
外野手	山本清正	三崎	44
投手	高田正	高浦	46
内野手	中村亀三郎	三崎	40
内野手	溜池保政	三崎	40
内野手	小松照吉	三崎	40
捕手	小金沢金一郎	三崎	40
内野手	山本憲勲	三崎	40
外野手	塩崎満雄	井野浦	40
捕手	阿部一寿	釜木	40
外野手	平善幸	三崎	40

### 第2回三崎町チャリティ・ソフトボール大会

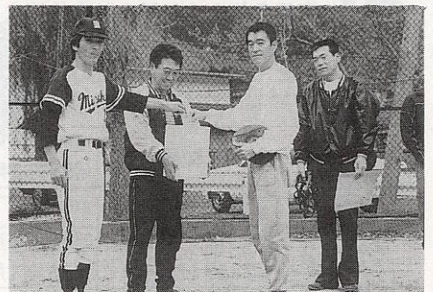
(主催：三崎町体育協会・壮年三崎四十雀)

#### 寄付金内訳

チーム名	金額	備考(対戦成績)
商工会	2,700	7 : 27 壮年
小中教員	900	7 : 9
西	2,000	0 : 3
農協	1,000	2 : 8
役場	3,000	1:8 ↓ 2回表途中
町議会	8,000	雨のため中止
メディック	1,500	
ごんべえ	2,000	
堀田	2,000	
その他賛助者		
菊池町長	1,000	
阿部鉄雄	1,000	
合計	25,100	



期待に応えた商工会チーム



募金箱に愛の手を



惜敗の小中教員チーム



ずぶぬれの農協チーム



健闘の西チーム

# しあわせなまじゅう

## めざして

### 三崎町社会福祉協議会を法人化

十月二日より「社会福祉法人三崎町社会福祉協議会」が発足いたしました。

これまで、任意団体であった三崎町社会福祉協議会をさらに強化し、福祉を充実していくため、県の認可を受け法人団体として再スタートすることになりました。

社会福祉協議会(社協)はわたしたちの身近ないろいろな福祉問題を解決して、すべての人々の生活をよくするためにつくれた民間の自主的な団体です。

- ▽ 身体に障害があっても寝たきりになっても

- ▽ 高齢者になってひとり暮らしをしていても
- ▽ 家族に病気の人がいても安心して暮らせる「しあわせなまちづくり」をめざしてまいります。

これからも社協にご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、社協の自主財源を確保し、健全な運営と地域総ぐるみによる福祉活動を進めるため、町内すべての世帯のかたがたが社協の会員となる全戸会員制を昭和六十三年度より実施する計画であります。

今後の社協会員募集についてもご協力いただきますようお願い申し上げます。

# 農業振興地域の見直し実施

## 制度を守りついでに農業

### 産業課による

- 農業振興地域制度は、長い将来にわたって農業の振興を図る必要がある地域内の土地の農業上の有効利用の方向などを明らかにした農業振興を図る上での基本的な制度です。
- 昭和六十二年、次の理由により見直しを行います。
- 〔農業振興地域の見直し理由〕
- ①情勢の推移による基本方針の変更による。
  - ②国土調査の成果による地番、地積の変更による。
  - ③公共事業による農用地区域の変更が図られる。
  - ④生活圏域の拡大による農用地区域の変更が図られる。
  - ⑤農用地区域内にある土地の農業上の利用の確保を図るため、開発許可制度、農用地などの転用の制限、農地などについての権利取得のあっせんなどの土地利用に関する措置があります。
  - ⑥農業振興地域については、農業施策の集中的な実施、税制上の優遇措置がとられます。
- 〔農業振興地域を変更する場合〕
- 農業振興地域内の農地に、農家住宅等を建てる場合には、事前に除外申請を市町村、県へ提出して許可が必要となります。
- 〔この機会に、変更通知を〕
- 農業振興地域の見直しを機会に、将来（一〇年間）農用地区域内に、農家住宅、倉庫（貯蔵庫等の建築予定がある場合は、至急、役場産業課（農林水産係）へ連絡して、除外申請をしてください。

## 免許証の切替を

### S 58. 4. 30 以前交付の海技免状をお持ちの皆さんへ

昭和58年4月30日から法改正により有効期間が5年間となり、5年ごとの更新が必要となりました。

#### ＜新しい海技免状に引換えを＞

現在の海技免状はそれぞれの資格別に定められた一定の期間内に新しい海技免状に引き換えなければなりません。（別表のとおり）

旧 資 格	引 換 期 間
丙種航海士・丙種機関士	昭和62年4月1日から昭和63年3月31日まで

旧 資 格	海技免状交付日	引 換 期 間
一級～三級 小型船舶操縦士	昭和52年4月1日から昭和58年4月29日まで	昭和62年4月1日から昭和63年3月31日まで
	昭和49年5月26日から昭和50年12月31日まで	昭和63年4月1日から昭和64年3月31日まで
四 級 小型船舶操縦士	昭和51年1月1日から昭和51年9月30日まで	昭和64年4月1日から昭和65年3月31日まで
	昭和51年10月1日から昭和52年9月30日まで	昭和65年4月1日から昭和66年3月31日まで
	昭和52年10月1日から昭和55年3月31日まで	昭和66年4月1日から昭和67年3月31日まで
	昭和55年4月1日から昭和58年4月29日まで	昭和67年4月1日から昭和68年3月31日まで
	昭和58年4月29日まで	昭和68年3月31日まで

引換申請手続きに必要なもの	引換期間の特例	免状の有効期間更新
①海技免状引換申請書 ②海技免状用写真 (写真30mm×30mm 1枚) ③海技免状 ④印 鑑	二以上の免状を持っている場合、いずれか早い方の引換期間内に一括して引換ができる	免状の有効期間の更新制度は、新しい海技免状と引換えてから適用される

#### 問い合わせ先

四国運輸局 松山海運支局	TEL(0899) 51-0145
今 治	“(0898) 23-3223
宇和島	“(0895) 22-0260
新居浜	“(0897) 33-2255
三崎漁業協同組合	” 56-0111
三崎町役場 産業課	” 54-1111

去る十一月六日佐田岬生活文化塾が開塾しました。この塾は、伊賀知事が提唱する生活文化県政の一貫として実施されたもので、三崎町におきましても、歴史や人材・自然など地域固有の資源を見直し、地域文化の伝承と、創造のための活用方法を調査・研究して新しい生活文化の波を起こす人材の育成を図ることが目的とされています。

この開塾式には、役場の中村千寿総務課長を講師に「三崎町の概要について」の講演をいた

### 佐田岬生活文化塾生名簿

役職名	住 所	氏 名	職 業
塾 頭		菊池 功	三崎町長
塾 長	名 取	垣内庄八郎	漁 業
塾 生	三 崎	中村 輝雄	商 業
”	”	中岡 謙治	農業改良普及員
”	高 浦	木村 安則	建 設 業
”	名 取	小林 絹久	建 設 業
”	三 崎	谷口 肇	農 協 職 員
”	二名津	小西 良忠	農 業
”	高 浦	横山 忠文	商工会職員
”	井野浦	西村 公男	商 業
”	三 崎	泉 裕重	学 校 教 員
”	”	申 梶原 昭二	漁 協 職 員
”	”	平 磯 梶原 孝一	農 業
”	”	河野 好晴	”
”	井野浦	山下 正明	漁 業
”	高 浦	酒井 章鉄	工 業

※事務局 役場産業課  
電話54-1111 (内線49・51)

# 文化塾で地域を

## 考える!!

塾頭を囲んで



# 国道197号頂上線開通記念の優秀作品より

国道一九七号頂上線の全線開通を記念して、愛媛新聞社と佐田岬広域観光推進協議会が県内の子供たちから募集した「僕たちの考えるあすの佐田岬半島」をテーマとする、作文と絵画の入賞作品が発表されました。

応募作品は作文百六十三点、絵画三百二十点におよび、半島への夢と希望、期待感がうかがわれた。

入賞者は八十七人で、うち優秀賞の十八人は十一月二十六日、三崎高校で開かれた「シンポジウム'87—あすの佐田岬半島」の開会式で表彰されました。

本町からも多数の作品が入賞しました。特に、串小学校的活躍は目をみはるものがあり、関係者は喜んでいました。

今回掲載した入賞者は三崎町のみです。

## ▽作文の部

【優秀賞】あべちから(串小1年)ふじたりょう(同2年)塩崎悠(大佐田小3年)安部由美子(正野小6年)伊藤幸千恵(串中1年)加藤ひとみ(同2年)

【入選】あべかずと(串小1年)なかむらしゆんすけ(三崎小1年)梶原朋代(正野小5年)阿部錠、阿部貴則、阿部真奈美(串小6年)大岩由紀美(正野小6年)山本大輔(三崎小6年)滝原智之(名取小6年)加藤誠(串中2年)

## ▽絵画の部

【優秀賞】藤田愛(串小4年)垣内一将(名取小5年)

【入選】山下鉄平、若宮松吾、石井悟史、山下智弘(三崎小1年)石井渚(二名津小1年)阿部一人(串小1年)橋本悦子(二名津小2年)藤田亮(串小2年)阿部博文、清水みゆき(正野小2年)加藤敬子(与修小2年)山本圭子(大佐田小3年)梶原慶子(三崎小4年)村中亜希、阿部治幸(名取小5年)梶原朋代、大岩美里(正野小5年)木下恒、与修小5年)藤原志穂、滝原智之、木村博信(名取小6年)阿部勝(二名津中1年)山下政昭(串中2年)

### 三崎町串小1年

#### あべちから

ぼくは、あのはしをわたって、かぞくみんなまでわたるまへかひものにいきたいです。きつとかあさんたちは、はし

「あのはしは、とてもながくて、車でおらないとだめかもしれないよ」と、おとうと

にみんなで行ったことがありません。とちゅう、うえじいちゃん

だから、あのはしができたなら、うえじいちゃんも車にのるの

たら、おかあさんたちをやわ

#### あのはしをわたって

ぼくがあのはしをはじめてみたのは、なつやすみです。それから日よう日に、かぞく

みせてあげたいなあ」とおもいました。

しんばいそうでした。ぼくは、うえじいちゃんが

さきいろがいいとおもいます。むらさきがいいのは、めだつ

わたりです。おじいちゃん、つりどうぐうりばで、いかの

### 三崎町正野小6年

#### 安部由美子

日本地図で見た佐田岬半島。ほんの少しだけで線のようにしか見えない。もう少しだけ大きく見える愛媛県地図では、日本地図よりもこまごまとした入り江が分かって

「わあ。美しい」と、見とれてしまっただけだった。青い海にかこまれ、高くもり上がった緑の山。その山もくねくね

冬には、全国一のみかんが、だんだん畑にオレンジ色のきれいな実をつける。こい緑の葉の中に、日に日に春の花の

光っている。目の前では、石、それに泳いでいる魚まで、この目で見る事ができる

には、私たちの知らない世界があるのと同じように、佐田岬には町の人々の知らない世界があります。そこには家族

#### 新しい世界佐田岬

も、いりくんだ海岸線のごころごころに自然の港ができて

一度、びつくりさせられた。道路をはさみ、どこまでも

おだやかな海には、青い画用紙の上に白い絵具をポンとお

いくらくねくねしていても、私の目、自分の目で見ると

佐田岬には、おもしろい海が広がっています。町

